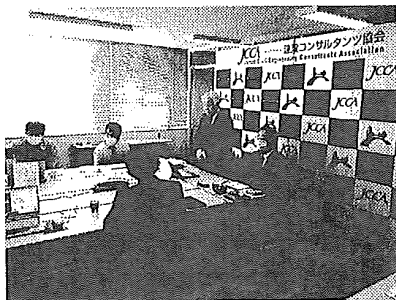


温暖化テーマに 防災シンポジウム

建コン協九州

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は10日、地球温暖化をテーマにした2021年度防災シンポジウムを開いた。写真。新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインで実施し、会



員約100人が参加した。

主催者を代表してあいさつした田中支部長は、九州における近年の局地的な豪雨災害の特徴を説明し、「線状降水帯と東西に長い河川の流域がかぶることで水害常襲地帯となっている。今回の講演が今後の業務のヒントになればと思つ」と語った。

続いて、中谷剛鹿児島大総合科学域総合研究学系南九州・南西諸島域共創機構地震火山地域防災センター特任研究員が「地球温暖化と九州地方への影響」をテーマに講演した。

中谷氏は、地球温暖化の概要と日本への影響の概略を説明後、地球温暖化予測計算データなどを使った九州各県への影響を紹介した。